



リポーター

小原喜代美さん(柏原在住)

市民の皆さんにリポーターになっていただき、市内の施設や市の事業をご紹介します。



農地パトロールは、定期的に市内全域の農地を地元の農業委員と事務局職員で見て歩きます

## 貴重な農地を守り

## 農業の振興を図ることが使命

狭山市では四季折々にさまざまな農作物が生産され、新緑のお茶畑や一面に広がる里芋畑などの景色が、私たちの心をいやしてくれます。そんな農地の権利調整や農業振興対策などの役割を持つ農業委員会で話を伺いました。

農業委員会は、法律に基づいて市に置かれている機関で、選挙によって選ばれた選挙委員と、農協や市議会などの推薦による選任委員の19名で構成される、農業・農業者の公的な代表機関です。市内には田や畑など約1千170haの農地がありますが、その農地を売買・

貸借したり、農地以外に利用するには、必ず前もって農地法に定める手続きを取らなければなりません。農業委員会では、それらの案件を毎月1回開催する定例総会で審議しています。

特に、農地を宅地や駐車場、資材置場などに利用する、農地転用は計画的かつ効率的に行う必要があります。最近では農地に残土だけでなく産業廃棄物などを埋め立てて、農地としての利用ができなくなり、近隣地にまで被害が及んでしまった事例もあったそうです。審議は慎重に行われています。また、ほとんどの案件はその後、さらに県の許可が必要なのだそうです。

農地は、私たちの生活に必要な食糧の大切な生産基盤の一つです。耕地面積の少ないわが国の食料自給率は、昭和35年度の79%から平成13年度には40%に低下しており、優良な農地を大切に守っていく必要があります。このために一定の規制があり、許可が必要となります。農地は、原則5千㎡以上持っている農家でなければ、買うことができないのです。このように、自分の農地



毎月開催される総会では、農地転用などの議案が慎重に審議されます

であっても簡単に違う用途に使用できないことや売買できないことを知り、とても驚きました。

このほか農業委員会では、農地のパトロールを定期的に行い、適正に管理されていない農地の所有者に是正指導をしています。雑草が生い茂った農地を見かけたこともありますが、農業の生産環境を悪化させるばかりでなく、火災や犯罪の原因にもなり、他人に迷惑をかけることがあるので、パトロールは重要な仕事だと思います。

このような流れの中で、高齢者の方の生きがいづくりや小・中学校の体験学習などの目的で、農地を利用して野菜などを育てる、市民農園が平成2年に認められ、農家でない市民が農地をより身近に感じられるようになっていきます。

私の住んでいる柏原にも多くの農地があります。身近な場所ですらに触れることができるのも大変よいことだと思えます。農地が適正に管理され、市内で生産された新鮮でおいしい野菜が食べられることは、消費者にとってもうれしいことです。今後も農業委員会の皆さんの活躍を期待します。

# オピニオン

皆さんの「声」をお寄せください。

朝の心温まる光景…心遣いにうれしくなりました

「先日の朝、新狭山駅前の駐輪場を利用しました。そのときのことです。一晩停めてあった自転車を学生や一般の方が乗り出そうとするとき、その駐輪場の管理をしているシルバ



バー人材センターの人たちが自転車のサドルをタオルで拭いてあげているではありませんか。私には、おじいちゃんが優しく孫を送り出すような光景に写り、何とも心温まる思いで顔がほころんでしまいました。(市内在住・主婦)」というお手紙をいただきました。

市では、放置自転車対策として、駅周辺に市営自転車駐車を設置し、管理業務をシルバー人材センターに委託しています。管理をしている方に話を伺いました。「うれしいお手紙をいただきありがとうございます。励

みになります。サドルを拭きはじめたのは2年くらい前のことです。雨が降った翌日、自転車が濡れて困っている人を見て始めました。この駐輪場は駅前で便利なこともあり、いつも朝の7時30分ぐらいには満車状態になってしまい、スペースが空くのを待つ人が並ぶこともあります。急いでいる方が多いので、そんなときは気が気ではありません。なるべく多くの方が利用できるように、毎朝必ず出る人の自転車を事前に通路に出したりもしています。あせらないですむように、三ツ木公園の近くにある駐輪場を利用させていただくか、少し時間に余裕をもって来ていただけるとありがたいですね。これからも『おはようございます』などとあいさつをして、コミュニケーションを図り、気持ち良く利用してもらえるように心掛けたいです」と話していました。

担当課からのお願い

自転車は環境に優しく健康にも良い、身近な乗り物です。マナーを守り自転車は放置せず、自転車駐車場を利用してください。

担当・交通防災課

## AET corner

Joseph Tait・中央中学校勤務



Visitors here are often asked to explain the differences between their country and Japan. While understanding

each others uniqueness is important, we should remember that we have a lot in common, too. Japanese laugh and cry as people do in other countries. We are saddened by war and disaster much as you are here in Japan. Japanese celebrate their successes and mourn the loss of their loved ones the same as we do. Yes, uniqueness is important, but no matter what race or religion one belongs to, we also have much in common. And that is worth understanding, too.

日本にいと、私の母国と日本の違いについてよく尋ねられます。相手を知るうえで、お互いの違いを理解することも大切なことですが、どの国の人も数多くある共通点を理解することが、より大切なことだと思います。日本人も外国人と同じように笑ったり、泣いたり、戦争や災害などを悲しみます。また、成功を祝い、愛する人の死を嘆き悲しみもします。もちろん私たちの個性は大切ですが、人種や宗教などに関係なく同じ部分が多くあるのです。このことを理解することが、お互いを理解し合えるうえで大切なことです。

<ジョセフ・タイト>(英文の要約)

### ●みんなの歌声があふれる学校 心に残る楽しい「音楽祭」



人間野中学校は合唱が盛んです。毎年行う音楽祭に向け、クラスごとに、数か月にかけて一生懸命練習し、みんなで協力して合唱をつくり上げます。その間校内は、生徒みんなの歌声であふれています。

そして、音楽祭当日は最優秀賞を目指し、練習の成果を発表することはもちろん、運動会で一緒に頑張った1年生から3年生の縦割りのチームや教員、有志などの合唱の発表もあり、一日中、音楽に包まれた心に残る楽しい祭典になります。

学校自慢

人間野中学校